

歴史は未来の羅針盤



『近江日野の歴史』第一巻「自然・古代編」、および第五巻「文化財編」は、各公民館や教育委員会において一冊四、〇〇〇円（税込）で販売中です。ぜひお買い求めください。また、第六巻「民俗編」の予約も受け付け中です。

町史編さん室では、町史の刊行に関連してさまざまな調査を行っています。今回は、歴史研究には欠かすことのない古文書調査について紹介します。

古文書調査の流れ

古文書調査の流れを簡単に説明しますと、まず、古文書の一点一点に番号を付けます。なかには、総数が数千点にも及ぶ古文書のまとまり（これを「文書群」と言います）もあります。

次に、一点一点の古文書の目録を作成します。これは、古文書の書かれた年代や、差出・受取人、表題など、古文書の基礎的な情報を抽出する作業です。

全ての目録を作成した後は、古文書の撮影を行います。町史編さん室では、デジタルカメラを用いて撮影を行っています。

目録作成・撮影が終了すると、一文書群の調査の完了となり、次

の文書群の調査を開始します。

古文書調査の蓄積

町内の個人、大字等の地区、神社や寺院などに伝来した古文書と、町外の研究機関等に保管されているものを合わせると、日野町に係る古文書はたいへんな数になります。

町史編さん事業を開始してから、現在までに調査してきた古文書は、



▲古文書調査の様子

目録化された古文書点数、約一〇万点、撮影したコマ数、約一〇〇万コマに達しています。

これほど多くの古文書が残されていること自体が、日野町の豊かな歴史を物語っていると云えるでしょう。

古文書調査の活用

次に、古文書調査によって得た目録や画像をどのように活用しているのかについて、お知らせします。

目録は、執筆委員の先生方に活用していただきます。膨大な古文書の全てを一人一人の先生にご覧いただくことは不可能ですので、古文書に記されている情報をまとめた目録が必要となるのです。

先生方には、目録を基にして、それぞれの専門分野に応じて、町史の執筆に必要な古文書を選び出していただき、撮影した画像で古文書の内容を具体的に解読し、

日野の歴史を研究していただいています。

この成果は、今後刊行していく「史料編」「日野商人編」「近世編」「近・現代編」で、町民のみならずにご覧いただけるものと思います。

また、古文書調査で得られた目録や画像は、町史刊行後においても、貴重な資料として、大いに活用することができます。

古文書調査は、今後も新たな古文書が発見されるたびに、順次進めていきます。これからも、古文書に関する情報がございましたら、町史編さん室へ是非ご一報くださいますようお願いいたします。

お知らせ

『近江日野の歴史』第6巻「民俗編」の発売を記念して、下記のとおり講演会を開催します。多数のご来場をお待ちしております。

日時：平成20年11月30日（日）
午後2時開始予定
会場：西大路公民館ホール